

## 関中央ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ



2025～2026 年度 関中央ロータリークラブ 会長テーマ

「自利利他 自らを研鑽し

社会に貢献するロータリー」

例会日：毎週木曜日 18 時 30 分

例会場：関観光ホテル 岐阜県関市池尻 91-2

会 長：吉田 和也

副会長：高井 良祐

幹 事：森 敬

会 報：古田 育則

事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1-D

TEL <0575>24-7332 FAX<0575>23-5278

前例会の記録 第 2215 回

2026 年 6 月 11 日

「クラブ創立記念オープン例会」

担 当 会長・幹事・親睦活動

本日のプログラム 第 2216 回例会 2026 年 6 月 25 日

卓話「関中央ロータリークラブの国際奉仕事業」 担 当：国際奉仕

ロータリーソング「我らの生業」斉唱・・・⑨

\*会長あいさつ 吉田 和也 会長



本日は、今年度最終例会となります。思い返せば、今年度最初の通常総会で会場の手配がされてなくて、急遽総会だけを行い懇親会は取りやめとなったり、事務員さんの不在の時期があったりと本当に、波乱のなかの 49 期の始まりでしたが、みなさまのおかげ様

をもちまして、今年度一年、いたらぬところばかりであったかと思いますが、何とか無事に 49 期の会長の任務を

完了することができそうです。本当に感謝申し上げます。また、今年度は我がクラブから喜久生先生にガバナー補佐に就任していただきました。みなさまには IM の開催などホストクラブとして、ご尽力いただき合わせて感謝申し上げます。本日は国際奉仕の担当で石原妙生委員長による「関中央ロータリークラブの国際奉仕事業」というテーマで卓話をいただきます。この事業のなかの関商工、台湾景文高校交流事業は、関商工の生徒に、すでに訪れているグローバル社会に対応するために、国際感覚を養ってもらう青少年育成として非常に意義のある事業だと思います。また私ども関中央クラブも台湾南隆ロータリークラブと交流させていただき南隆ロータリークラブの記念式典などに参加させていただき、台

湾の方々と色々とお話する中で、国際的な知見を広めることができ、とても勉強になります。私は、今後も続けていけることができたなら良いと思いますが、、  
今年度はこうして、例年通りの事業を行わせていただきましたが、次年度は、会員減少による事業費の減少といった本当に厳しい運営状況の中で、関中央ロータリークラブにとっては改革の年度となると思います。また50周年の周年事業もございます。土屋会長をはじめ理事役員の方々、また石原 50 周年実行委員長をはじめ実行委員の方々には、本当にご苦勞をおかけいたしますが、関中央ロータリークラブの運営が、会員みなさまにとって、楽しんで行うロータリー活動となるよう、また、50 周年記念式典の成功を、私も関中央ロータリークラブの一員として精一杯ご協力させていただきたいと思います。それでは、関中央ロータリークラブのますますの発展と、会員みなさま方のご多幸と、ご健康を祈念いたしまして、最後の会長挨拶とさせていただきます。  
今年度一年本当にありがとうございました。

\*本日のプログラム 担当:国際奉仕・IA  
卓話「関中央ロータリークラブの国際奉仕事業」  
国際奉仕委員 石原 妙生 委員長



我がクラブの国際交流事業は、ご存じの通り台湾の台北南隆ロータリークラブと友好クラブ締結以来、互いに来訪し会員間の親睦を図り、近年は台湾景文高校と関商工高の交流事業を行っています。私はクラブの看板事業ともいえる、素晴らしい事業だと思っています。

ここで改めてロータリークラブの国際奉仕とはと考えたとき、交流事業はロータリーの綱領によると、「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」とあり、概念上四つの分野の中の「国際レベルの教育及び文化交流活動」にあたると考えられます。

さて、本来であれば6月9日からの4日間は景文高校と関商工の交流事業で、台湾から来日される予定でし

たが、台湾の諸事情により中止となりましたので、国際奉仕委員会としては改めて交流の流れを例会にて紹介をしたいと思います。それでは我がクラブの活動内容を振り返りたいと思います。

・平成 22 年(2010 年)には、台北南隆クラブとの交流開始にあたり準備等の打合せに当時会長エレクトの川上さんを代表とした方々で訪台されました。

言葉の通じないクラブとのやり取りや事の進め方等、不安要素がいっぱいで、お互いの気持ちが通じているか半信半疑での交渉はとても大変なことだったと思います。これ以降は配布した年表に沿ってお話をします。

※台湾、台北南隆ロータリークラブとの交流 年表※

平成 22 年(2010)交流開始にあたり準備打合せ、訪台(川上エレクト他)

平成 23 年(2011)7 月 12 日～友好クラブ締結に向けて、訪台(川上会長他)

平成 24 年(2012)3 月 8 日 関中央RC創立 35 周年記念式典、来日(川上会長)友好クラブ締結

平成 24 年(2012)6 月 15 日～南隆RC創立 17 周年記念式典、訪台(川上会長)

3 月の当クラブの式典に台湾から出席を頂いたことにより、南隆の周年記念式典の参加を親睦旅行を兼ねて計画された。(夫人も数名参加)とにかく歓迎がすごくビックリで、台湾の料理と紹興酒が以前より好きになり、初めての台湾との交流でしたが楽しい思い出になりました。  
平成 25 年(2013)6 月 16 日～南隆RC創立 18 周年記念式典、訪台(佐藤会長)姉妹クラブ締結調印式  
平成 26 年(2014)6 月 11 日～第 1 回交流、来日受入れ(高井会長)生徒 8 名、ホストファミリー受入が困難で一家族二人受入も有った。

平成 26 年(2014)12 月 20 日～第 1 回交流 訪台(伊佐地会長)生徒 8 名、先生 2 名が参加しました。景文高校では校門から生徒達の人垣の中を進んで会場へ向かう歓迎に、非常に驚いた。又、歓迎セレモニーでも部活の演技が有り楽しいものでした。関商工の生徒は、短期間の準備と思われる英語で学校紹介を行い、景文高校の生徒は上手な日本語で学校紹介をしてくれ、よく学習され、準備していたという印象を受けました。

平成 27 年(2015)6 月 24 日～ 南隆RC創立 20 周年記念式典 訪台(伊佐地金嗣会長)

平成 28 年(2016)5 月 17 日～第 2 回交流来日受入れ(喜久生明男会長)生徒 9 名、ホストファミリーの受入増えて、一家族一人の受け入れとなった。この時は副会長として交流に参加。交流を通じ関商工の生徒は、英語が少しでもできるとどの国の人でも話が出来ることを改めて感じた。又コミュニケーションの取り方が学べたとか、台湾に興味がわき訪問したい等感想を伝えてくれました。



平成 28 年(2016)12 月 21 日～第 2 回交流 訪台(石原妙生会長)生徒 11 名、先生 2 名が参加。今回は会長として緊張し参加。

訪問当日の歓迎パーティー、翌日景文高校での歓迎セレモニーで、台湾流の「おもてなし」を受け、とても感激した。セレモニーでは、関商工の生徒がかなり努力したなと思える様な英語で、学校紹介を行い良かった。私は会長挨拶で国際交流にあたり、言葉や文化の壁を乗り越えて、今まで以上にはっきりとした意思の発信が出来たら良いですねと話しました。訪問後、関商工の生徒からは日本との違いを沢山発見でき、この訪問は宝物のような思い出になった等の感想が有りました。



平成 29 年(2017)2 月 17 日～ 関中央RC創立 40 周年記念式典、来日(石原妙生会長)



南隆RCより 10 名出席、前日歓迎会、翌日高山観光及び食事会

平成 29 年(2017)5 月 18 日～ 南隆RC創立 22 周年記念式典、訪台(石原妙生会長)



前日の歓迎パーティーで再び台湾の心のこもった「おもてなし」を受け感激。記念式典は大人数で盛大に開催され、緊張の中で挨拶をした。

一人ひとりの顔を覚え、名前を覚え、わずかな中国語・少しの英語、身振り手振りと残りは日本語でコミュニケーションを取り、後は「乾ペイ」、最後は「謝謝」でお付き合いをさせて頂きました。

特にこの年は、3 度も交流が出来、又会長という役柄、



出番も多く大変良い経験をさせて頂き、思い出に残る 1 年で良かったです

平成 30 年(2018)5 月 18 日～南隆RC創立 23 周年記念式典、訪台(波多野好文会長)

平成 30 年(2018)12 月 19 日～第 3 回交流 訪台(波多野篤志会長)生徒 8 名、先生 2 名が参加。  
会員の親睦旅行を兼ね夫人も参加して実施



平成 31 年(2019)6 月 10 日～第 3 回交流 来日受入れ(波多野篤志会長)



※令和 2 年 2 月頃よりコロナウィルス発症、その後蔓延し交流は中断する。

令和 5 年(2023)6 月 8 日～南隆RC創立 28 周年記念式典、訪台(森敬会長)



令和 5 年(2023)12 月 17 日～第 4 回交流 訪台(森敬会長)生徒 12 名、先生 3 名(中原校長)が参加。

令和 6 年(2024)6 月 10 日～第 4 回交流 来日受入れ(森敬会長)

令和 7 年(2025)12 月 17 日～第 5 回交流 訪台(吉田和也会長)生徒 10 名、先生 2 名が参加



令和 8 年(2026)6 月 9 日～第 5 回交流 来日受入れ(吉田和也会長)

●台湾の諸事情により中止

以上の様に交流事業を行ってきましたが、クラブ会員の減少による会の予算が厳しい状況で今後どうしていいのか、全会員で話し合ってください。最後に昨年の 12 月の交流の映像を見て頂いて、終わりたいと思います。

\*出席委員会

会員数 26 名、本日の出席 16 名です。

\*ニコボックス委員会

17 ポイントのご投函ありがとうございました。

\*その他の委員会報告

\*幹事報告

<次例会の案内>

第 2217 回 7 月 2 日 (木)

「通常総会・懇親会」

担当:会長・幹事・親睦活動